



No.439

志望校選びのポイント

中三の五〜七月はイベントが多く、中三生の皆さんにとっては非常に慌ただしい時期となります。修学旅行に体育祭、各種検定試験に期末テスト、それらが終わったら部活の最後の大会等……あつという間に時間が過ぎていきます。気づいたら夏休み直前、受験生なのに志望校について全く考えていなかった、各高校で説明会が開催されるのにどこにも申し込みをしていない、どうしよう……と頭を悩ませる中三生が毎年何人かいます。そこで、夏休み前のこの時期に考えてほしいポイントをいくつか紹介いたしますので、志望校選びの参考になれば幸いです。

まずは、様々な観点から「自分の行きたい学校」を選択しましょう。



◆将来の夢や希望◆

最近の高校は多種多様化が進み、様々な学科やコースが設置されています。特に私立高校では、普通科でも特別進学コースや大学進学コースなど細かく分かれています。高校卒業後、どのような進路をとるのか、あるいは、最終的にどんな職業に就きたいのか、できる限り自身自身を見つめ直し、自分の将来の希望や夢が実現できる高校を選びましょう。

◆充実した高校生活◆

高校では、部活動や文化祭等の学校行事は中学校とは比べものにならないほど大規模に行わ

れます。自分が高校で何をしたいのか、こんな高校生活を送りたいといった考えを思い描くことも大切です。そして、それが実現できる教育方針、校風、施設や設備等を持った高校を選びましょう。

◆充実した学習ができるか◆

「高校の授業についていけない」よく聞く言葉です。これは自分の学力と高校の授業レベルが合っていないことによるものです。高校では、中学校とは異なり、一定の学力レベルに及ばなければ「授業についていけない」、逆ならば「何か物足りない」と感じるようになります。充実した学習を進めるため、自分の学力レベルに合った高校を選ぶことも非常に大切です。

◆高校の入学金や授業料等◆

公立高校と私立高校では、入学、そして、その後の三年間にかかる費用はかなりの違いがあります。また、私立高校では、学科やコースによっても学費は異なります。私立高校は学費が公立より高い分、その施設や設備面では充実したものとされます。経済的な面を考慮することも志望校を選ぶ上で大切なことと言えます。

これらを踏まえ、第一志望校を公立にするのか私立にするのかをご家庭で話し合ってお決めしましょう。

次に、公立志望の場合は、自分の現在の偏差値を踏まえ、プラス十までに入る高校の中から気になる学校を何校かピックアップしましょう。(現在の自分の偏差値が五十二なら六十二〜五十二の高校の中から選びましょう)

私立志望の場合は、気になる学校に推薦基準が設けられているかどうか、また、昨年の推薦基準

値はいくつだったのか確認しましょう。(創学舎の先生方に質問してください)

この時期は非常に忙しいとは思いますが、後悔のない、納得のいく志望校選びのために、ぜひ時間を作ってください。(村田)

生徒からライブレ

先生という仕事をしていると、思いがけない場所で卒業生と再会することがある。この仕事を始めてから年数が経つほどにその頻度が高くなった。電車の中や街の中、某テーマパークの中でさえ偶然出くわしたことがある。偶然の再会をする、「先生、お久しぶりです！覚えてますか？」といつも聞かれるが、「覚えていない……。」となったことはこれまでに一度だつてない。

もちろん全員覚えていて、顔を見た瞬間、部活や趣味、話した内容などの思い出が、洪水のような勢いで鮮明に溢れてくる。時には再会したくないような恥ずかしい場面で再会してしまうこともあるが、子どもだった彼らが成長した姿元気にしている姿を見ると、その日一日を晴れやかな気持ちで過ごせる。ただ、不思議なもので(私だけなのかもしれないが)その子と話をした他愛もない内容は真つ先に思い出すが、その場では名前が思い出せなかったことは恥ずかしながらよくある。

そうした再会がいろいろあるわけだが、先日、とても嬉しい再会をした。私は趣味で、とあるスポーツをしている。ある日、練習をしていると後ろの方から「塾の先生にすごい似ている」という声が聞こえたので振り返った。すると、そこには茶髪でロン毛、ちゃらちゃらした雰囲気になったT君がいたのだ。中学三年生か

ら大学進学まで通ってくれていた子だ。当時の彼は、数学の途中式をすぐに省き、テキストへの〇×転記は言わなければならず、宿題は平気でサボり、お調子者でゲームが大好き……。そのような四年ほど前の記憶が湧き上がってきた。しかし、その日はもう時間が遅かったので、少しだけ話を別れた。

その再会から数日が経ち、彼と練習の時間が再び重なった。そこで彼と初めて試合をした。「教え子には絶対に負けられない」と体がこわばる私、「先生に勝ちたい」と力んでしまっている彼、二人の初対戦はお世辞にも良い内容と言えるものではなかったが、なんとか私が勝利した。「まだまだ練習が足りないぞ。いつでも相手になるからな」などと冗談を交わしながら思い出話に花を咲かせ、かけがえのない一日を過ごした。それから彼とは会うたびに試合をするようになった。「彼にはまだ一度も負けたくない」と言いたいところだが、一度だけ負けしてしまったことがある。悔しかった。

一方で教え子が私を負かしてくれたことが嬉しくもあった。そのようになわけて、生徒だった彼が今では「意地でも負けたくないライブレ」へと変わった。

卒業生の中には、進路や就職の報告などで教室に顔を出してくれる子が毎年いる。進路相談や人生相談、特に用事はないがふらつと教室に立ち寄ってくれる子もいる。卒業しても創学舎で過ごした思い出を大切にしてくれていることはとても嬉しいものだ。受験生にはこれから先、創学舎で苦しくもあり楽しくもある濃厚な日々が待っている。少し大変かもしれないが、きつ



と良い思い出となることだろう。これから迎える受験勉強の日々を、「あの大変だった日々も良い思い出だな」といつの日か思い返してもらえらるるように。そして、いつの日か思い出話に花を咲かせられる日がくるよう、悔いを残さない日々を過ごしてほしい。
(上田)

集団知②

●集団知(知っている、知らないに関わらず、集団として受け入れた価値観・判断)の続きである。

●①の「勉強法を伝え切れなかった後悔」を続ける。

●④「記憶の仕方」を伝えきれなかった。私は、実は生徒に「暗記しろ」と言ったことはない。「暗記」は勿論必要なことで、親も教師も先輩も成績優秀な友人も「暗記」の重要性はきつとくり返し伝えてはいるはずだ。で、生徒は「暗記」に取り組む。

●ただ、ここには大きな問題がある。ひらがなを覚えたり、数字を覚えたり、アルファベットを覚えたりするの単純な暗記と、④一定の意味を対応させる暗記、例えば犬||dog・水素||Hのよきな暗記と、フレミングの法則のように⑤はつきりとした理解を伴った暗記はやり方が全くちがうということである。高校受験で上位校に合格した生徒の体験記に「暗記」についての記述を目にすることがあるが、その人は暗記すべき項目にあわせて、暗記の仕方をおそらく無意識に変えていったのである。そして、この「無意識に変えていった」が、実は一番やっかいな点である。つまり、無意識だから明確に言葉化できないので、他者にきちんと伝えられないのである。ある程度勉強をがんばった親から見れば、

「暗記科目」で点数をとれないわが子を見て、「何やっているんだ。」といらだち、不安に思われるかもしれない。しかし、お子さんは、能力がないのではなく、暗記の仕方の修正が無意識にできないのが原因なのである。そして、そのことに気付いている大人はほとんどいない。暗記のやり方についての本もたくさんあるが、いずれも一定の訓練を必要とするもので、「暗記」が苦手な生徒には無理。また、やったことが無い方法を、本を読んだだけで人に授けようとしてもこれも無理。上記の④から⑤へと無意識に修正していけない生徒は大変である。で、具体的なやり方を紹介したい。

●「古文単語」は毎日一〇分で(五分でも)ほぼ完全に記憶される。(因みに私は「暗記」という言い方はしない。誤解している人が多いからである。従って、「記憶」という言い方を使っている。)一日一〇分三〇〇日やって三〇〇〇分||五〇時間。五分だと三〇〇日で二五時間。これで、古文単語三〇〇||四〇〇語の意味はスラスラできるようになる。受験生であれば、きつと年間で五〇時間以上は、古文の単語の暗記に時間を使っているはずである。しかし、単語集の三〇〇||四〇〇の意味がスラスラ出てくる生徒はそれほど多くない。やり方が間違っているからである。間違っているも、学校や塾の単語テストのときは、一生懸命やって合格点をとるので、やり方を変えようとはしない。



「ある方法で五分(一〇分)毎日やる」ことで記憶は格段に進む。そして、自分に自信もつく。さらに続けるという習慣が一つ形成されたことは、次の習慣の形成をやり易くなるという最大のメリットへとつながる。(以下次号) (小林)

詳細はこちらのサイトをご覧ください。お申し込みもこちらから!



<https://school.jac-web.com>

JAC 千葉学習塾協同組合

WSF パーチャル・スクールフェア
Powered by 千葉学習塾協同組合

私立中高 オンライン 学校説明会

ONLINE

YouTube LIVE

あなたにピッタリの学校を見つけよう!

2022 7月10日(日)

10:00~16:45

- ◎参加校は随時WEBサイトにて発表いたします。最新情報はWEBサイトにてご確認ください。
- ◎1校あたり約15分の学校説明会となります。全てYouTubeでの生配信ですのでご自宅で視聴できます。

参加方法

完全事前お申し込み制となります。

QRコードで表示されたWEBサイトよりお申し込みください。

JAC スクールフェア事務局: school-fair@jac-web.com <https://jac.web.com>

お問い合わせ: 日米文化学院 ☎047-485-9647 (月~土 12:30~19:00)

【後援】千葉県教育委員会、千葉市教育委員会、船橋市教育委員会、市川市教育委員会、佐倉市教育委員会、四街道市教育委員会、木更津市教育委員会、柏市教育委員会、市原市教育委員会、白井市教育委員会、印西市教育委員会、成田市教育委員会、習志野市教育委員会、千葉県PTA連絡協議会、千葉県私立中学高等学校協会、千葉県高等学校長協会、他